

メディア掲載 実績

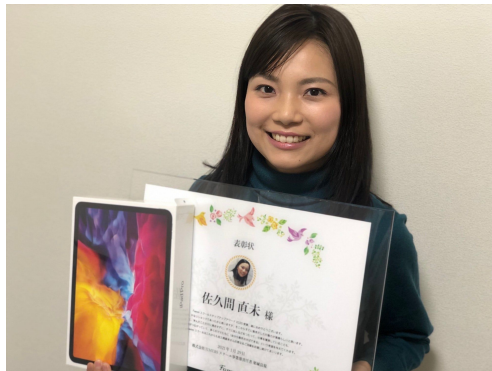
佐久間直未

株式会社Timers ステップアップアワード受賞

2021/1/29 Famm ステップアップアワード

育休中にキャリアを切り拓いたママを選ぶ
第一回ステップアワードのアワード受賞者に選ばれました
授賞式ではスピーチをさせていただきました

<https://famm.us/ja-contents-db/webinar-report-0129>



Yahoo!ニュース インタビュー記事掲載

2021/2/26 Yahoo!ニュース(女子SPA!)

コロナで育休後に復帰できず...失業したママが、手に職をつけた方法

<https://joshi-spa.jp/1063148?fbclid=IwAR3BQbU6ueW-rQImaW0ovscL0jwdSbXkpWPgJSuELUc0yy7Lcty3oM56Q0>

※仮名掲載



威の“超能力”は本物か「感じますよ、シックスセンスで」

東スポWeb



コロナで育休後に復帰できず...失業したママが、手に職をつけた方法

女子SPA!



キャリアコンサルタント養成講座開催中

BSテレビ東京「日経プラス10」取材

2021/3/8 夜10時放送

BSテレビ東京 ニュース報道番組 「日経プラス10」

働き方改革 第二章 コロナ時代に考える時
間を有効活用する術



この番組は **BSテレ東 4K** (4K 7ch) で 超高精細な「ピュア4K映像」をご覧いただけます

2021年 3月8日 (月)

働き方改革「第二章」コロナ時代に考える時間を有効活用する術

ゲスト：中村直文 (日本経済新聞 編集委員)

新型コロナウイルスの感染拡大で在宅勤務が一般化する中、働き方改革の一環として、時間の使い方が大きなテーマになってきました。また、育児休暇の過ごし方も注目されています。自宅で過ごす時間をどう有効活用し、キャリアアップにつなげるのか。一層多様化する働き方について考えます。



Sankei Biz インタビュー記事掲載

2021/4/9 Sankei Biz

(5時から作家塾)育休中も充実へ！
自宅でスキルアップできるサービスが大人気

https://www.sankeibiz.jp/smp/workstyle/news/210409/ecd2104090601002-s1.htm?fbclid=IwAR0lcCPNK6vFN83zNXQk1lqwzssU0_phP40fciC_UggBza3QtaGM0zWNx68

≡ MENU

SankeiBiz

げています」

修了生は様々な分野で活躍している。2019年に修了した佐久間直未さんは、最初はITに疎かったものの、受講を通してスキルを身につけた。今ではYouTubeのサムネイル画像や小規模Webサイト作成を行っている。



自宅でスキルアップできるサービス01 Famm (ファミ) ママ専用スクールは、自宅でWEBデザインの基礎が学べるとあって、育休中のお母さんの人気を集めている。写真は修了生の佐久間直未さん

「最初は自信がありませんでしたが、ていねいに教えていただき、フリーランスとして働けるようになりました。いまは2歳の息子の育児をするかたわら、1日4時間程度働いています。実績を積んで自分の得意な分野を伸ばしていきたいです」(佐久間さん)

CHANTO WEB インタビュー記事掲載

2021/5/21 **CHANTO WEB**(働く女性のためのWebメディア)

コロナで失業したママがデザインスクールに通い、
未経験で起業した話

<https://chanto.jp.net/work/career/241676/?fbclid=IwAR3mLxfoJpfDZa-de6R8z3C7eBzg1I9lgCY050s7dJiOUisZ3x18kdXFYrY>

※仮名掲載



産経新聞 記事掲載

2021/6/21 産経新聞

女性不況 高まる学び直し

記事の一部に取材内容と写真掲載

産経新聞 2021年6月21日

女性不況 高まる学び直し

危機備え 技術と収入源複雑化

とりわけ女性に雇用不安を招いたとされるコロナ不況。今月公表された令和3年版男女共同参画白書は「女性不況」との言葉も用いて、女性へのしわ寄せの深刻さを指摘した。一方で、雇用の不安に直面した女性たちが、新たな職につなげるスキル（技術）を得ようと、学び直しへの関心を高めている。都内のWebデザインスクールでは、元飲食店員など、これまであまり見られなかった職種からの受講も見られるという。スキルと収入源を複雑化することで、危機に備えたいとの心理が働いているようだ。（津川綾子）

変化し続ける職場

「前回は専念して勉強して、就職してからは、スキルを磨いてきた。でも、今は、スキルを磨くだけでなく、新しいスキルを身につける必要が出てきた。学び直しは、今の職場で生き残るために必要だ」と、都内のWebデザインスクールの受講生、元飲食店員、佐藤さん（仮名）は話す。佐藤さんは、元飲食店員として働いていたが、コロナ不況の影響で、飲食店の経営が厳しくなり、退職を余儀なくされた。現在は、Webデザインスクールの受講生として、新しいスキルを身につけている。佐藤さんは、Webデザインスクールの受講生として、新しいスキルを身につけている。佐藤さんは、Webデザインスクールの受講生として、新しいスキルを身につけている。

学び直しへの関心の高まり

「学び直しへの関心が高まっている」と、都内のWebデザインスクールの講師、田中さんは話す。田中さんは、Webデザインスクールの講師として、新しいスキルを身につけている。田中さんは、Webデザインスクールの講師として、新しいスキルを身につけている。田中さんは、Webデザインスクールの講師として、新しいスキルを身につけている。

収入源の複雑化

「収入源を複雑化している」と、都内のWebデザインスクールの受講生、佐藤さんは話す。佐藤さんは、Webデザインスクールの受講生として、新しいスキルを身につけている。佐藤さんは、Webデザインスクールの受講生として、新しいスキルを身につけている。佐藤さんは、Webデザインスクールの受講生として、新しいスキルを身につけている。

女性への影響

「女性への影響は、今年4月に厚生労働省が発表した調査結果によると、女性へのしわ寄せが深刻化している」と、都内のWebデザインスクールの講師、田中さんは話す。田中さんは、Webデザインスクールの講師として、新しいスキルを身につけている。田中さんは、Webデザインスクールの講師として、新しいスキルを身につけている。田中さんは、Webデザインスクールの講師として、新しいスキルを身につけている。

雇用が大きく落ち込む

雇用者数（季節調整値）
3320（万人）
3280
3240
3200
2760
2720
2680
2640

男性 35万人減少
女性 74万人減少

2月 4 6 8 10 12 2 4 6 8 10 12 23
平成30 令和元 2

減少幅は男性の2倍以上

※令和3年版男女共同参画白書（内閣府）と労働力調査（経済産業省）を基に作成

「マナビス」の画面、ビジネス系はアクセス上位を女性向けに講座が占める

「マナビス」の画面、ビジネス系はアクセス上位を女性向けに講座が占める。学び直しで得たスキルを仕事につなげたい人も

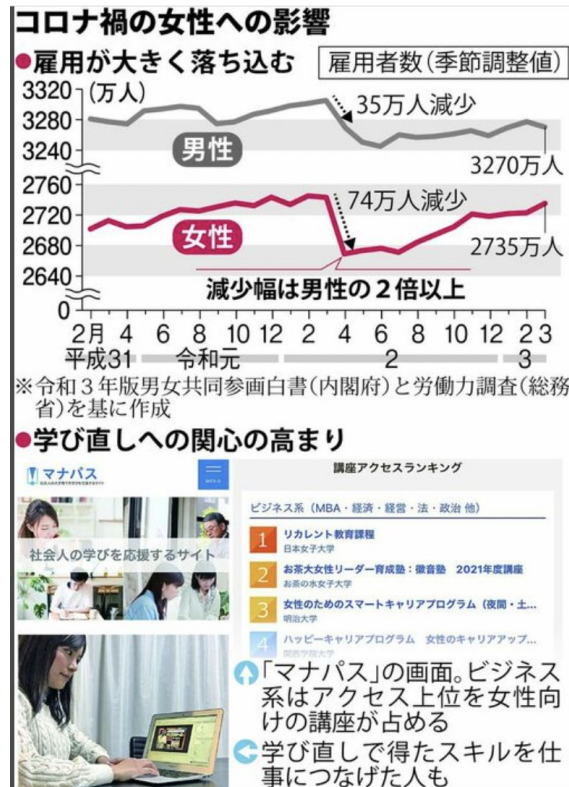


Yahoo!ニュース 記事掲載

2021/6/21 Yahoo!ニュース(産経新聞)

女性不況 高まる学び直し

<https://news.yahoo.co.jp/articles/67fa645ee7b340238fb8599abe80119a8c95998c>



日経Woman インタビューページ掲載

2021/8/5

日経Woman 9月号

資格 & スキルを仕事につなげた人のセキララ白書

CASE 4 ▶ 独立

コロナ禍で育休復帰できず、失業を経験…。習得したウェブデザインのスキルを生きかしフリーランスとして独立！

Web designer



34歳 フリーランスウェブデザイナー
東京都在住
夫と子ども3人暮らし

独立後半年で「月収20万円以上」の目標を達成

フリーランスの第一歩は、親戚や友人に「起業したい」と伝えることから始まる。空想でも起業のために行動して欲しいと勧めたことに、ウェブデザイナーを目指すという思いが強い「1歳の子供がいる」夫の理解を得て「1歳の子供がいる」という状況が実現した。

結婚当時、知り合いの紹介で専門学校でウェブデザインを学んだ。卒業後の就職活動も徐々に進んでいった。

現場でニーズのあるスキルを追加で習得し、アピール

ウェブデザイナーを目指し、就職活動で分かったのは、スタートのキャリアにこだわらなければ、スキルを身につけていけること。そこで独立を思い出し、フリーランスの道を歩むことに決めた。

船政中はこれを使う
フィットネスゲームで体も脳もスッキリ！
Nintendo Switchのエクササイズゲームで体を動かすのが好きです。「お風呂の後のなごみ掃除が、リフレッシュしています。」

スキル取得で「稼ぐカブアプリ」のコツ

- ① スマホで買ったことを「業務に仕事に活かす」証拠
- ② LINEのKeep機能を使ってスキルを管理
- ③ スクールが終わっても情報のアップデートをやる
- ④ 1つのことに絞って勉強し、情報や質問も、実践してのアドバイスを受けること

57 日経WOMAN 2021.9 写真／武蔵野美術

私を取り戻す！最高の「休み方」

資格＆スキルがお金になるまで／みんなのひとり旅

9 日経ウーマン
SEPTEMBER
2021

みんなの感動＆ワザをシェア！
働く女子の
“妄想”ひとり旅

みんなの感動＆ワザをシェア！
働く女子の
“妄想”ひとり旅

【産】に学ぶ
ブランドینگ講座
【マツコ私】でも
仕事力UPする10のコツ

【女は〇〇】と言われたくない！
【#駄言辞典】の使い方

週末ルーティン
ダラダラOK 脳内リセット

私を取り戻す！
最高の「休み方」

月曜の朝から心が軽い！私たちの「週末ルーティン」／心の疲れを取る「やめてもいいこと15」
20代・30代・40代…至福の「休日ひとり時間」／ハマる女子が急増中！／ノロキャン入門



日経ビジネス電子版

2021/11/22

日経ビジネス電子版

【特集】リスキングが会社
を変える

消えた復職の夢、
ITスキルで身を立てる

<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00356/111600018/>



「個人事業主になるとは思ってもみなかった」と佐久間さんは話す（写真：竹井俊晴）

佐久間さんが利用していたのが、計5回の講座でウェブデザインの基礎を学ぶタイマーズ（東京・渋谷）の提供するサービスだ。同社のサービスの特徴は、自宅まで無料でベ



佐久間直未さんは育児休暇からの復帰を目指していたが、コロナ禍を受けて断念し、現在は個人事業主として働く（写真：竹井俊晴）

佐久間さんは現在、個人事業主としてウェブデザインの仕事や婚活カウンセラーとして働いている。コロナ禍で職を失いながら働くことができているのは、育休時に身

日経ビジネス インタビューページ掲載

2021/11/29

日経ビジネス 11/29号

DX人材の作り方

リスキングで成長再び

DX人材の作り方

課題1
ジェンダー格差解消
女性の活躍の場が拡大
男女の賃金格差縮小

しいと示された場所は、同期が住むILDKのマンスリーの寮だった。一人暮らし用の部屋には、その場に役立つかわらない暖房機とキベネット、そして会議室用の大型の机が置かれていた。机の向かいには、社長と同期が座った。「オフィス代わりに社員部屋を使う」とは、佐久間さんは会社で置かれていた状況を

理解した。
佐久間さんが育児休暇を取得している間に、会社の収益は急速に悪化していた。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、経済イベントは軒並み中止となり、営業も打撃を受けて、社として注していた事業は壊滅的な打撃を受けた。復原を模索していた佐久間さんには、社長は「自休

PART 4

**女性やシニアの活躍に
IT人材不足
技術習得で**

**イノベーションも
以外にも
課題解決**

リスキングによって解決できるのはIT人材一人ひとりの能力を底上げすることは企業企業は幅広い視点を持ってリスキングに

不足という課題だけではなく、
や社会が抱える問題の解決を促す。
取り組むことが必要だ。

社長と面談する。左は昔ながらの設備を自慢しているが、IT人材を欲している。現在は自休中に学んだスキルを生かして人事課として働く。右は働きながらITスキルを学んでいる。

「日本型雇用が壊れる中、新しいスキルの習得で新しいキャリアをつかむことができる。結果、男女の賃金格差の解消にもつながるのではないか」と話すのはリスキングに詳しいリクルートワークス研究所の石坂直子主任研究員だ。

コロナ禍によってとりわけ女性の非正規雇用が多い飲食業やサービス業は大きな打撃を受けた。内閣府が今年4月にまとめた「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書」も、コロナ禍によって「女性の非正規雇用労働者の減少や自営者数の増加など女性への深刻な影響が明らかに」なると結論づけている。

実際、コロナ禍の影響で失いながらも、リスキングによって身に付けたスキルで仕事を続けている人もいる。

新型コロナウイルスが日本でも広がりはじめた2020年3月、育児休暇中だった佐久間直さんは育児休暇が終わり復職の相談のため東京・東中野にある勤め先の先をたねようとしていた。勤務先は就職活動のイベントや学生の留学支援などを手掛ける家族経営に近い小さな会社だ。佐久間さんは18年12月に出産し、その後、育児休暇を取得していた。

だが会社に連絡すると、すでにオフィスを引き払いたという。来ては

から復帰してもどこまで給料を払えるかわからない」と言う。思心地が高い会社だったが、退職か選択はなかった。

佐久間さんは現在、個人事業主としてウェブデザインの仕事をこなしている。育児休業中に身に付けた新たなスキルのおかげだ。

コロナ前には、経済イベントのウェブサイトの制作に関わることが多かった。その際、ウェブサイトの制作会社とサイトのデザインや機能などについて交渉することもあり、専門知識を身に付ける必要性を感じていた。「自休をもらってからは、ITスキルを習得するつもりで、何と何と会社に還元したいと考えていた」と短期のウェブデザインの講座に通い始めた。

佐久間さんが利用していたのが、計5回の講座でウェブデザインの基礎を学ぶTimers（北京・渋谷）の提供するサービスだ。同社のサービスの特徴は、自宅まで無料のペーシッターが来てくれることだ。週に1回の授業の間、彼は授業に集中でき、子供はスクターの元で休んで過ごす。1日働かないで休日を過ごすのが利用しやすい仕組みだ。これまで

2000人以上が受講している。佐久間さんは授業でコーディングの基礎やバナー制作の方法などを学んだという。現在は、ウェブサイトや動画サイトの画像制作などを手掛けている。動画編集など新たな仕事を依頼される場面も増え、動画編集講座の受講も始めた。「会社員だったはずが、思わぬ形で独立したことになる。育児の間にデジタルのスキルを身に付けてよかった」と佐久間さんは話す。

格差は改善傾向だが……
厚生労働省の賃金構造基本統計調査によると、19年の月間所定内給付額（奨励等を含められている支給額、算定方法により9月分まで支給された現金給付額のこと。超過労働給付額は引く）は、男性が33万8000円、女性が25万1000円だった。男性が100に対し、女性は74。約30年前は女性の賃金が男性の6割程度だったので、以降と比べて改善したものの、依然として格差は残っている。

女性の場合、コロナ禍以降から、結婚や出産のほかパートナーの転職に伴う移行といった事情でそれまでの仕事を辞め、その後、正社員の仕事を見つけれないケースも少なくない。だからこそ、佐久間さんのように新たなスキルを身に付けることは、女性のさらなる社会参画を促し、賃金格差解消にもつながる可能性がある。企業にとっても、リスキングによってデジタルスキルを身に付けた女性が増えれば、IT人材の不足を解消するだけでなく、女性の活躍の場が広がることもつながる。復職や所得アップの手段として、

026 NIKKEI BUSINESS ■ 2021.11.29

NIKKEI BUSINESS ■ 2021.11.29 027